

令和3年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 自動車事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：10 構築物費	所属：営業課(自動車) 担当者名：井関

(単位：千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予算額	23,383	77,755	△ 54,372

(単位：千円)

【事業内容】	3年度予算額
1 バス停留所ベンチ新設及び更新	
<p>(1 事業目的・内容) 中期経営計画では毎年10基のベンチ新設及び更新を掲げており、ベンチの新設及び更新を行います。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 今年度から新たに安全対策の充実・強化、地方公営企業としての役割と責任を果たすための取組として老朽化した施設の見直し、福祉対策を行いたいと思います。ベンチにおいても福祉対策として新設及び老朽化したベンチの更新を行います。</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

令和3年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 自動車事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：10 構築物費	所属：営業課(自動車) 担当者名：井関

(単位：千円)

【事業内容】	3年度予算額
2 バス停留所上屋・ベンチの新設(公営交通事業協会)	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>社団法人・公営交通事業協会の事業運営の一貫として「モデル・バス停留所施設の設置事業」を行っています。 平成25年度までは材料費・工事費含め公営事業協会が全額負担していたが、平成26年度以降は公営事業協会は880千円+材料費のみ負担し、残りの工事費は交通局負担となりました。 令和3年度についても引き続き、財団法人日本宝くじ協会の助成を受けてこの事業を実施する通知があり、バス停留所上屋及びベンチの寄贈を受ける事になりました。 設置工事にかかる費用負担については、上限金額が880千円までと公営交通事業協会が定めており、当該金額を超える額については、原則バス事業者負担となるため令和3年度についても計上いたします。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>平成29年度 洋光台5丁目上屋設置費用実績(付帯工事費を含む実績)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

令和3年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 自動車事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：10 構築物費	所属：営業課(自動車) 担当者名：井関
(単位：千円)	
【事業内容】	3年度予算額
3 関内駅駅前広場バス乗り場案内ボード設置	
(1 事業目的・内容)	
<p>関内駅周辺には10か所ほどのバス停がありますが、当局敷地外にはバスのり場案内のボード等が設置しておらず、利用者にとって分かりにくい状況です。JR関内駅北口改札の前に都市整備局が駅前広場整備工事を今年度下期から実施する予定があり、新設される駅前広場においてバス利用案内盤を設置することとして横浜市と合意しております。R2年度予算にてボードの作成と設置を予定しておりましたが、駅前広場整備工事の完工が来年度にずれ込む予定であるため、ボードの設置費用のみR3年度に持ち込みます。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和3年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 自動車事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：10 構築物費	所属：営業課(自動車) 担当者名：井関

(単位：千円)

【事業内容】	3年度予算額
4 路面舗装等修繕(本牧営業所 施工)	
<p>(1 事業目的・内容) 営業所構内の路面舗装ほかの修繕費用。施設課積算。 本牧 ⇒舗装修繕(設計R2 年度R3年度工事予定)</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 各営業所から要望があり、現地調査の結果、陥没箇所を多数確認しています。</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

令和3年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 自動車事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：10 構築物費	所属：営業課(自動車) 担当者名：井関

(単位：千円)

【事業内容】	3年度予算額
5 横浜駅東西自由通路バス総合案内ボード作成	
(1 事業目的・内容)	
<p>横浜駅の東西自由通路にはバス利用案内がなく特に来街者に対するご案内に課題があります。</p> <p>東西に分かれたバスターミナルの乗り場案内情報の必要性を、横浜市やJR東日本、観光コンベンションビューローと昨年度から協議を継続しております。2020年夏前に自由通路からJRタワービルに観光案内所が移設されましたが、自由通路にあった観光案内所の跡地利用については用途が決まっていない状況です。観光コンベンションビューローやJR東日本との協議の中では、地域の魅力発信や交通案内情報を提供するようなブースにしたいというイメージを共有しているため、バスの総合案内情報のボード等を設置することを当局としては要望しております。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和3年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 自動車事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：10 構築物費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

	3年度 A	2年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	148,208	285,058	△ 136,850

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
建1 若葉台営業所改修その他工事	49,250

(1 事業目的・内容)

若葉台営業所及び同車両整備工場は、事務室改修工事や整備工場部分改修の中で一部内装改修を行っていますが、それ以外(浴室、トイレ等)については、大規模な改修を行っていないため、老朽化が進んでいる状況です。

今回、同営業所の浴室、脱衣室の改修、女性施設の新設、トイレの洋式化のほか、建物の屋根防水更新、外構及び川和バス折返し場詰所の内外装、給排水衛生、電気設備改修工事を実施します。

(主な改修内容)

営業所空調改修	空調更新・照明器具更新
営業所浴室改修	内装更新・給排水設備更新・脱衣室床更新
営業所トイレ改修	洋便器化・床改修・個室ブース更新
営業所女性施設新設	営業所2階清掃員詰所を女性施設に改修



浴室壁・側溝タイル剥がれ



屋上手摺腐食・防水層不具合

【事業費】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
設計			
工事			▶
改良		32,830※	49,250
修繕		18,920※	
計		51,750	49,250

※設計は平成30年度

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事 業 費	103,440	49,250				152,690
債務負担設定	49,250					49,250

令和3年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 自動車事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：10 構築物費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
建2 港南営業所改修その他工事	

(1 事業目的・内容)

港南営業所及び同車両整備工場は、事務室改修工事や整備工場部分改修の中で一部内装改修を行っていますが、それ以外(浴室、トイレ等)については、大規模な改修を行っていないため、老朽化が進んでいる状況です。

営業所の各室の空調設備の更新を含め、浴室の改修、トイレの洋式化のほか、女性施設の新設、車両整備工場鉄部の塗装、屋根・外壁・付帯施設等の改修工事の設計を行います。また、野庭折返場及び浅間町営業所、緑営業所、鶴見営業所における部分的な改修工事の設計を行います。

	令和3年度	令和4年度
港南営業所	設計	工事
設計費(改良費)		
設計費(修繕費)		
計		



浴室 老朽化状況

(主な改修内容)

港南営業所	空調改修	空調機更新
	内装改修	天井・壁・床改修、事務室OAフロア化
	浴室改修	内装更新、衛生設備更新
	トイレ改修	洋式化、内装改修、衛生設備更新
	女性施設新設	清掃員控室を女性施設に改修
車両整備工場	トイレ改修	洋式化、内装改修、衛生設備更新、女性用新設
	間仕切り変更	事務室拡張
	内装・屋根改修	屋根塗装、鉄部塗装
付帯施設	体育館改修	屋根塗装、鉄部塗装、外壁補修
	自転車置き場	鉄部塗装、柱脚部補強



手洗所 老朽化状況

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	12,575					
債務負担設定						

令和3年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 自動車事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：10 構築物費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	3年度予算額
建3 横浜駅西口第1バスターミナル上屋改修工事	

(1 事業目的・内容)

駅前バスターミナル上屋は、柱・梁等の腐食や屋根材の劣化が進行していることから、平成27年度から順次改修を行ってきました。令和元年度に、横浜駅西口第1バスターミナルの設計と工事着手を行い、令和2年度から令和4年度にかけて、1上屋ずつ、改修します。

令和3年度は、上屋2の改修工事を行います。

なお、改修工事の実施にあたっては、他のバス事業者と負担金等について協議したうえで、段階的に改修を行うこととします。

単位:千円

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
設計	設計			
工事		上屋1	上屋2	上屋3
設計費	2,179			
工事費	5,530	19,048		
合計	7,709	19,048		

実績

決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	19,048					
債務負担設定						

令和3年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 自動車事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：10 構築物費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設1 営業所冷温水発生機更新工事	

(1 事業目的・内容)

各営業所には、所内の空調管理を行う冷温水発生機を設置しています。
 浅間町営業所の当該設備は令和3年度で稼働から24年目を迎え、一般的な耐用年数である20年を越え、本体故障が頻発している状態です。また製造メーカーの部品供給も困難な状況となっており、夏季冷房シーズンや冬季暖房シーズンに運転ができなくなった場合、迅速な故障復旧ができずバス営業に多大な影響を及ぼします。
 このため、計画的な更新を同様に劣化が進行している周辺設備を含めて行います。

		R1	R2	R3	備考
設 計	営業所	港南	浅間町		
	年式	H6	H9		
	設計費	2,036	2,961		
工 事	営業所	滝頭・磯子	港南	浅間町	
	経過年数	23年・22年	26年	24年	
	工事費	97,072	59,226		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	2年度予算	3年度予算	4年度予定	5年度予定	6年度以降	総 額
事業費	59,226					
債務負担設定						

令和3年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 自動車事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：10 構築物費	所属：建築課 担当者名：倉本、大熊、横田、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	3年度予算額
設2 営業所排水管改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

各営業所及び詰所等の排水管については、敷設より40年以上が経過しており、老朽化が進んでいる状況です。この状態を放置した場合、排水管のつまりや管破損によって、執務に支障を及ぼす可能性があるため、更新を行います。

	令和3年	令和4年
鶴見営業所	→ 設計	→ 工事

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無